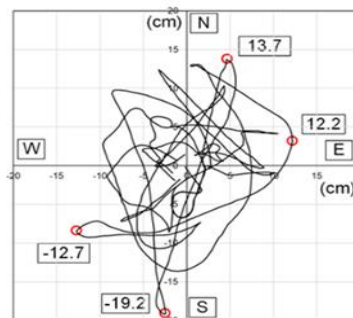




2024 年 1 月 1 日能登半島地震での 建物被害調査と免震効果



（左）能登半島地震の建物被害 *AIJ 報告書ほか

（右上）恵寿病院の調査（右下）免震層の変位記録

2024 年 1 月 1 日に石川県能登地方に発生した能登半島地震（M7.6）では、多くの木造住宅が倒壊・全壊し、インフラ設備にも甚大な被害が発生した。著者も地震後に日本免震構造協会のメンバーとして現地に入り、被害調査を実施した。

石川県七尾市に建つ免震構造の恵寿総合病院は、震度 6 強の地震の揺れを受けたが建物本体の損傷がほとんどなく、医療機能を継続することができた。地震後の調査によって免震層の最大変位は約 19.5 cm に達し、免震効果が病院の被害を低減したことを確認できた（JSSI 報告書）。一方、七尾市では防災科学技術研究所による K-net 七尾の観測点で、地盤の揺れの加速度記録が観測されていた。本研究では、この観測記録を入力地震動とした免震建物の応答解析を行い、免震効果を解析的に確認する検討を行った。

【文責】 宮本 裕司

【連絡先】

福井工業大学 まちづくりデザインセンター

Tel : 0776-29-2661 E-mail : machi-design@fukui-ut.ac.jp

